

団体名	NPO 法人 はりま里山研究所		
団体の所在地	姫路市	代表者名	熊谷 哲

1. 事業名	里山保全活動及び環境学習会、地域交流事業
2. 実施期間	平成 26 年 4 月 6 日～平成 27 年 3 月 28 日
3. 主な実施場所	姫路市香寺町須加院姫ヶ丘団地内にある里山ガーデン、はりま里山研究所
4. 活動形態	実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①里山保全活動・・・毎月第2日曜の定例里山保全活動日と不定期にも行い、年間44回行った。定期的に森林や散策路の手入れや管理、遊具の管理などを行った。(のべ78人)</p> <p>②サイエンス・カフェ・・・毎月第2日曜の午後開催。自然や環境に関わるテーマで大学教授や専門研究員などの講師に講演いただいた後、里山で採集した木の実などを使った手作りの焼き菓子とお茶を飲みながら講師や参加者と談義できる、内容の濃い大人のための環境学習会。年間9回開催。(参加人数のべ203人)</p> <p>③はりまキッズ・サイエンス・クラブ・・・年間6回開催した。 屋外(里山)と屋内(研究所)の2か所をうまく使い、わかりやすく内容の濃い環境学習ができた。(参加者のべ158人)</p> <p>④地域交流活動・・・春のさくら・つつじ祭り、秋の里山祭り、クリスマス・エコキャンドルナイトなどを開催。それぞれ里山の素材を生かしたクラフト制作、廃油キャンドル作り等を行い、自然の大切さを学び、共生環境を作っていくことを今後も目指していく。(参加者のべ500人)</p> <p>⑤教育支援・研究、兵庫県立大学の講義、フィールドワーク、植生調査、学生団体の支援等。環境学習等研究、地球温暖化関連の「うちエコキッズ」の開発・研究や普及活動等を行い、NPOとして学会発表2回、論文発表2編を行った。</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>月1回の定例の作業では地元住宅地からの参加に加え、姫路市内や大阪からの参加があり一定の広がりが見られた。里山保全事業の活動に関し、環境技術学会から「里山再生をめざす市民運動の意義」という題目で論文執筆依頼があり、掲載をした。地域で里山の再生を考えている団体が参考の資料と使うことを期待している。</p> <p>サイエンスカフェやキッズサイエンスクラブの活動でも成果が見られた。特にサイエンスカフェではカフェとしての質を高めた活動を行い、高く評価されている。</p>
7. 成果物	<p>①.環境学習ソフト「うちエコキッズ」の開発・改良による低炭素家庭の実現、黒田修司、熊谷哲、土川忠浩、エネルギー環境教育研究、第8巻2号、P55-61(2014)</p> <p>②.里山再生をめざす市民運動の意義、熊谷哲、環境技術、Vol143No.12,P20-26(2014)</p>

8. 活動写真・説明

<p>キッズ・サイエンス・クラブ「森で探そう！虫・植物大発見！」</p>	<p>サイエンス・カフェ「里山のめぐみとしてのきのこ」</p>	<p>里山整備事業</p>